

防災瓦とは

阪神淡路の大震災を機に、震災に強い瓦として防災瓦が開発、改良され、現在では新築などはほぼ防災瓦になっております。

また、東北沖地震の災害や最近では千葉県の風害にもこの瓦は正しく施工すれば、被害の少ないことが証明されました。

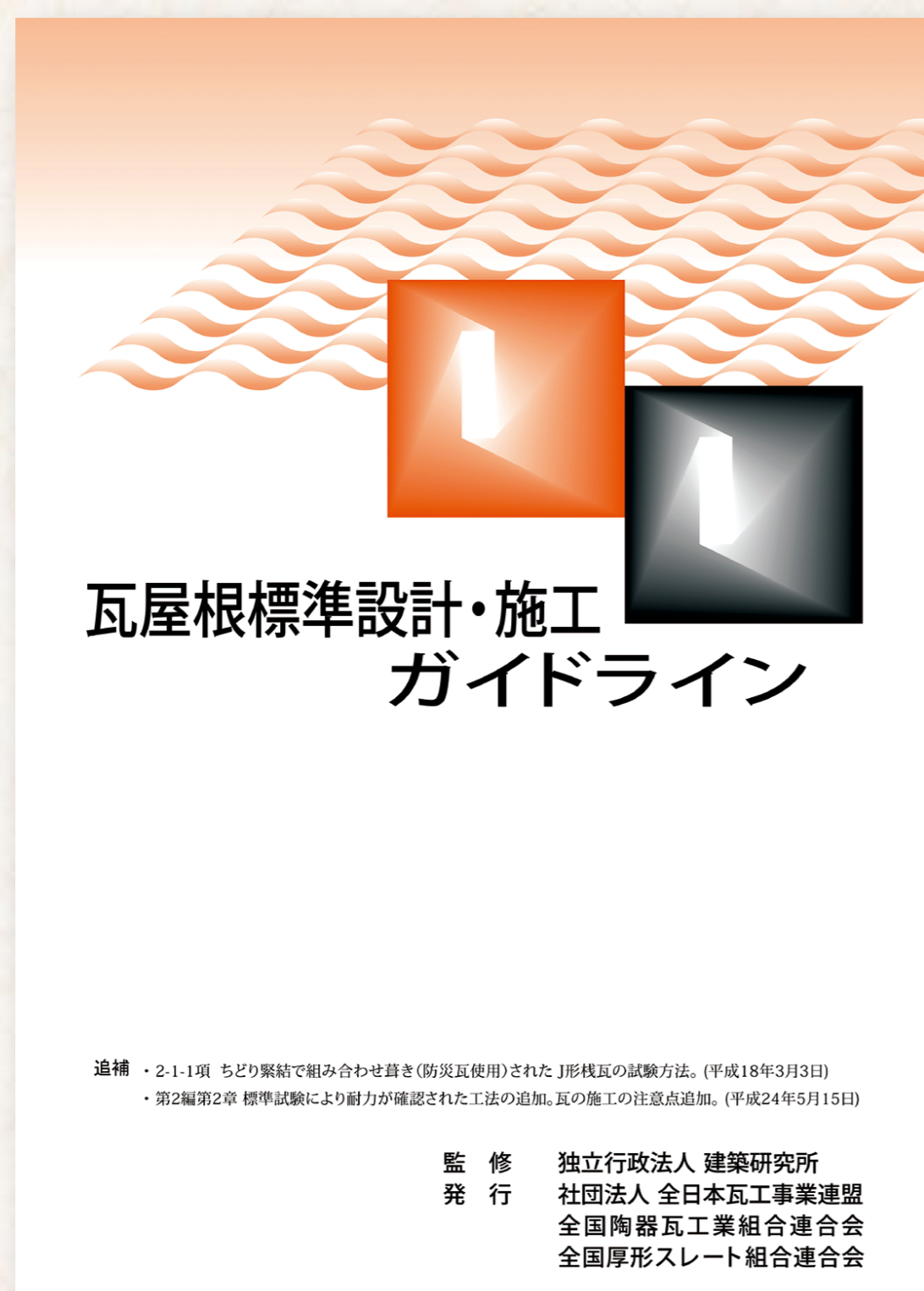
瓦は、きちんとした工法とメンテナンスをおこなえば、どのような屋根材より優れていると自負しております。

耐久、耐震、耐水、耐火、耐寒、耐侯、断熱、防音、快適、環境のすべてに優れております。



▲株式会社 鶴弥 防災J形瓦「Ace(エース)」

瓦ガイドライン工法とは



防災瓦の施工には、全瓦連独自の瓦ガイドライン工法を用いることが当組合の強みです。

この工法は、来年1月より施行される建築基準法の改正告知第109号(厳格化)を補完するものとして採用されました。

これを機に当組合ではこのすぐれた工法を、ウェブや勉強会、フォーラムなどあらゆる機会を通じより一層の普及に努めてまいります。

▲「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」

